

平成 20 年 2 月 5 日

○下手な洒落も言いなシャレのコーナー○

ふじたあきじ

高齢者のボヤキ（これだけ言えばスットするの巻）

—通勤電車に乗る時のマナー ワースト 10—

2007年のベストエッセイ集に、ある有名な作家の話が載っていた。

「昔教えられたことは、人間は後には目がないから、電車に乗る時は鞆を体の前に回して持ちなさいということ。最近、背中に担いでいる若者に注意したことがあるが、そんな時、なぐられそうになったら、すぐその場に倒れてみせるのがいい。」という大変面白い話。そこで私がよく見るワースト10のトップに入れた。

- 1 背負ったリュックを人の鼻っ面に押し付けるゴキブリ
- 2 電車の入口に立って、乗る人の邪魔をするオジャマムシ
- 3 満員電車で新聞を広げたまんま読むバカウマ
- 4 わざと尻を出して通路に入る人の邪魔をするイジワルキツネ
- 5 車内に大きな鏡を持ち込み、化粧をするスッピンオバケ
- 6 車内でケータイを杓に見立てて、一心不乱に拝んでいるアホキツネ
- 7 車内で携帯に向かって大声を出すケータイなヤロー
- 8 優先座席を知らない若ボケ、知ってて、寝たふりするタヌキ
- 9 割り込むイタチに、降りる人より先に乗るイタチ
- 10 目の前に立っている客が居るのに、横の座席に荷物を置いたママ

下手なシャレはサブー。

でも一番サブーいのは、乗車した子供たちが「先生座ってもいいですか。」と聞いた時に、女性先生が「あたりまえでしょう、お金払ってんだから。」と教えたこと。

ワースト10の共通点はジコチュウである。教育はマナー改善から始めよう。「昔の非常識が今の常識」にならないよう、また、「人に迷惑をかけない」ように教育するには、どうしたらいいか。アホ、バカ、マヌケのキツネ、タヌキ、イタチを動物専用車に乗せて、躰のための教材にしたらいい。

(次のワースト10は何にしようかな)